

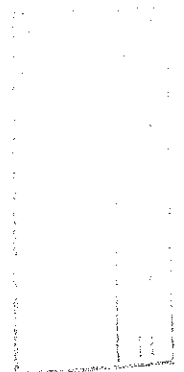
DA
1992
1998
(16)

博士（文学）論文

方法としての枕詞―枕詞の継承と展開―

筑波大学大学院 文芸・言語研究科

白井 伊津子



目
次

序論 枕詞と被枕詞の関係

第一節 枕詞の先行研究

第二節 枕詞・被枕詞の関係分類の試み

第一章 方法としての枕詞の出発―人麻呂における枕詞の方法―

第一節 人麻呂以前の枕詞―記紀歌謡・初期萬葉の様相―

第二節 人麻呂における枕詞の認識

一 大地名と小地名の関係―包含する関係の枕詞・被枕詞―

二 句の構成と枕詞―言い換え・繰り返しの関係の枕詞・被枕詞―

第三節 人麻呂の方法―新しい有縁化の試み―

一 和語と漢語の分析―用言にかかる枕詞―

二 枕詞と歌の情調―ことばによる統合―

第二章 方法の継承と反省―萬葉第三期の歌人における枕詞の表現―

第一節 単なる措辞的な用法の増加

第二節 個性的な用法―山上憶良を中心に―

第三節 新しい枕詞の潮流

第三章	方法の極—家持における枕詞の方法—	一〇〇
第一節	枕詞における表象性の喚起	一〇一
一	懸詞による枕詞・被枕詞関係	一〇一
二	同音繰り返しによる枕詞・被枕詞関係	一〇七
第二節	歌の表現に即した枕詞の用法	一一八
一	作品の内容と構成に即した使い分け	一一九
二	作歌の場（状況）に即した使い分け	一二六
第三節	方法の極—枕詞・被枕詞関係の固定化と提喻—	一三一
第四章	枕詞の行方—平安朝における枕詞の変容—	一四一
第一節	枕詞の伝統—枕詞と「古事」—	一四二
第二節	枕詞・被枕詞関係の解消	一五一
一	枕詞と懸詞・縁語	一五一
二	枕詞と「異名」	一六二
三	枕詞の行方	一七五
終論	修辭論としての枕詞論	一八五
初出一覽		一九二
参考文献		一九三